

なぎの木のように

豊橋市立石巻小学校
校長だより No.8
令和8年2月20日

🐎 大地を駆ける馬のように 力強く しなやかに 🐎

令和8年が始まり、早くも2か月が過ぎ去ろうとしています。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」といって、この時期は、ことさら時の流れが早く感じられます。

さて、今年の干支は「うま」です。今年は、何事もうま（馬）くいくとよいですね。しかし、時にはうまくいかないこともあるかもしれません。そこで、3学期の始業式に、子どもたちには「校長先生は、馬のように力強くしなやかに進んでいく年にしたい」という話をしました。

「力強く」は、自分の力いっぱいがんばるということ。「しなやかに」は、困ったことや大きな変化があっても、あきらめることなく柔軟に対応しつつ、しなやかに立ち直るということ。誰にでも、うまくできないことや、簡単に乗り越えられないことがあります。そんな時、「自分には無理」とあきらめてしまったり、まわりの人や環境のせいにしてしまったりすることなく、強い心をもって、前へ前へと歩みを進めたいものです。どんな状況においても、あきらめず、周りの人と知恵を出し合い、よい方法を考え、力を合わせて乗り越えていくことを心がけ、力強く、しなやかに進んでいく。子どもたちには、まず自分にできることを一生懸命やってほしいです。自分の力を出し切り、困難なことに出会っても乗り越えていくしなやかさを育てたいです。「今日もよくがんばった」という積み重ねは、自分への自信となり、やがては明るい未来をえがくことへとつながります。

ふわふわ言葉をいっぱい使おう！

A君がサッカーボールを蹴ろうとしたとき、失敗をしてしまいました。あなたならどんな声をかけますか？

大丈夫。どんまい！
次はきっとできるよ。

ふわふわ言葉

もう、何やってんだ。下手だなあ。

ちくちく言葉

「大丈夫。」「どんまい！」「次はきっとできるよ。」と言われたら、A君は頑張ってみようという気持ちになると思います。でも、「もう～なにやってんだ」「下手だなあ」と言われたら悲しい気持ちになります。A君だけでなく、チームのみんなもいやな気持ちになり、うまくプレーできなくなります。

「ふわふわ言葉」は言われた相手の心が元気になったり、楽しくなったりする言葉、「ちくちく言葉」は言われると嫌な気持ちになる言葉です。

「さすがだね」「上手だね」など言われてうれしい言葉や、「ありがとう」などお礼の気持ちを伝える言葉がふわふわ言葉です。そのほかに、「大丈夫だよ」「手伝うよ」など相手を安心させたり、「きっとできるよ」「よく思いついたね」など、励ましたりする言葉もふわふわ言葉です。

お互いにいやな気持ちにならず、前向きに頑張っていけるように、相手の気持ちを考えてできるだけ多くの「ふわふわ言葉」を使っていけるといいですね。

感謝の会



<各種ボランティアの皆様>

- 子ども見守り隊（青パト）
- 交通安全指導員
- ぐるんぱ読み聞かせ
- ボランティアコーディネーター

いつも子どもたちのために、ご協力いただき誠にありがとうございます。おかげで、子どもたちは毎日安全に登下校でき、本に親しんだり、学習でお世話になりましたりして学校生活を楽しんでいます。これからもよろしく願いいたします。